

保育士養成のあり方検討：検討項目・スケジュール（案）

1 検討項目

検討項目	検討の内容
1 保育士の需要と供給の将来推計	○精査・確認
2 保育専門学院を移転充実し、県として保育士養成を継続する場合における課題 ①施設整備 ②教員体制・教育課程 ③幼稚園教諭免許の取得 ④機能の充実	○必要な設備、充実すべき機能、財政負担。 ○専任教員の確保及び保育ニーズに対応した教育課程の一層の充実。 ○通信での幼稚園教諭免許取得の継続。 ○保育士養成のほかに保育士研修など充実が期待できる機能。
3 鳥取短期大学と連携する場合における課題 ①定員増による供給数の増見込 ②学生の経費面での負担 ③保育士養成に係る県の関わり	○定員増による県内保育士の必要供給数の確保。 ○新たな奨学金などの支援策。 ○保育士養成の質の向上に係る支援策。
4 保育士養成のあり方	○1～3の検討を踏まえ、量及び質の確保の面で、本県の保育士養成のあり方を検討。 ・県として保育専門学院を改築し保育士養成を継続するか、鳥取短期大学と連携するか。
5 保育士の人材育成	○「子ども・子育て新システム」（保育教諭など）を踏まえた対応。 ○検討課題、大学等との連携など実施に当たっての方策。

2 スケジュール

第1回	H23. 11. 17	○県内の保育士養成の現状について
第2回	H23. 12. 20	○現地視察、ヒアリング
第3回	H24. 1月中旬	○将来推計、保育専門学院を移転充実する場合における課題について
第4回	3月中旬	○保育専門学院を移転充実する場合における課題について
第5回	4月中旬	○鳥取短期大学と連携する場合における課題について
第6回	5月	○県の役割として、保育士養成の必要性、保育士の人材育成について
第7回以降	6月	○検討委員会報告書のまとめ